インタビューを終えた後は、記事に使う写真を撮らせてもらうようお願いをします。

「新聞に使う写真を撮らせて欲しいんですが、いいですか?」
「ありがとう。では3つカウントしてからシャッターを切ります」
「はいはーい、笑って笑って〜、1,2,3!」

ステップバイステップウィズレベルを使うと言葉の録音とシャッターを押す操作が簡単にできます。

4) 見直し

記事のために収集した情報を見直します。集めた情報のどの部分を記事に実際に使用するのか決定します。

5) 記事作成／編集

実際に記事を書いていきます。個々の生徒が最もしやすい方法で記事を作成します（例：ペンと紙、コンピュータ、シンボルやイラスト・絵を切って貼る等）。

シンボルなどをハサミで切って貼った記事

スイッチと電動はさみでシンボルを切っています

6) 構成

コンピュータで記事の中の文章や写真の位置を決めていきます。

◆コンピュータを使用せず、教諭が以下のような書式を作成し、生徒が記入することでも構成することは可能です。

どっちのアイスが勝ったの？
私達はソーダ味とオレンジ味の2種類のアイスのどちらが人気があるか学校の皆にインタビューしました：
_____名にインタビューしました。
_____名はソーダ味が好きでした。
_____名はオレンジ味が好きでした。

7) 印刷・仕上げる

- ●コピーする：数字や認知、コミュニケーションのスキルの実践にも繋がります。
- ●ページ順に並べる：紙を一枚ずつ取ってページ順に並べます。巧緻運動の発達の機会にもなります。
- ●ホッチキスで留める：スイッチと電動ホッチキスを使って印刷された新聞を留めていきます。一番重要な最後の仕上げの役割を持つことで生徒は誇らしい気持ちを持って取り組むことができます。

8) 配布する

職員室も含め、各教室に生徒が完成した新聞を配布します。家族にも発送されます。

9) 完成のお祝い

新聞が完成したお祝いをします。障害を持つ子ども達は、達成したことに対する称賛が必要です。褒めることはさらなる意欲に繋がります。

学校新聞プロジェクトで得られるもの

- 現実の（実生活の）、意欲を起こさせる活動の中でコミュニケーション、参加の機会を実現する
- 教諭や学校職員／生徒との社会的交流の増加
- 生徒の積極性を伸ばす
- 家族の喜び

すべての子ども達が最大限の可能性を引き出すスキルを高めるには、現実の意欲を持てる活動へ関わることが大切です。